

消費活性化委員会（2007年度・林野 宏委員長）提言

## 「消費活性化が経済成長を促す」

**消**費活性化委員会（2007年度・林野宏委員長）は、5月22日、提言「消費活性化が経済成長を促す」を発表した。

政治において改革姿勢が弱まったことで、わが国の経済には停滞感が増し、国民の間には将来に対する悲観的見方がさら

に拡大しつつある。一方、わが国にも高い経済成長を実現する要素はある。第一は、製造業を中心に優れた技術やノウハウを

### 提言の概略

#### I なぜ、消費活性化が必要なのか

1. GDPの約60%で最大を占める個人消費を伸ばすことは、経済成長に大きく寄与する
2. 消費活性化により、外需と内需のバランスの取れた経済成長を目指す

#### II 消費活性化への4つの提言

##### ● 提言1：国民の不安払拭による消費活性化——政府がすべきこと

###### 老後の最低限の生活保障

1. 社会保障制度の抜本的改革により、国が老後の最低限の生活を保障し、消費マインドの悪化を防ぐ

###### 家計における資産活用促進

1. 確定拠出年金の拠出限度枠の拡充、企業型年金におけるマッチング拠出を認めることで私的年金制度の活用を促す
2. 資産運用をしやすいとする金融所得一体課税を実現し、資産所得を高める  
\* 2つの勤労所得と資産所得で子供3人を養育する  
“Three Income-Three Kids” の提案

###### 若年層への資産移転促進

1. 高齢層から若年層への生前贈与を資産の用途や種類に限らず広く税制優遇し、若年層への資産移転を促す

###### 子育て支援策の拡充

1. 若年層向け社会保障給付の配分を見直し、負担と給付の世代間格差を是正する
2. 乳幼児を扶養する低所得者等に「給付つき税額控除」を導入し、支援する

##### ● 提言2：国民の不安払拭による消費活性化——企業がすべきこと

###### 人材への経営資源の充当

1. 競争力向上のため、人材にも経営資源を適切に充当する  
\* マクロの労働分配率：個々の企業の労働力確保のための経営資源の配分によりマーケット・メカニズムで決まるもの。わが国は、個人の能力、さらには成果に対し適正な価格（報酬）を決める労働市場が形成される過渡期にある

持つ競争力のある企業が多いこと。第二は、中国、インドといった世界の経済成長を支える主要国を有するアジアに位置し、その成長力を活用することで、アジア地域の一層の経済発展に貢献できるという地理的優位性。第三は、約1,500兆円に上る個人金融資産である。これらを梃子

にすれば、高水準な経済成長は可能である。

本提言では、わが国の成長政策を考える上で最も重要でありながら、現在低迷しており、具体的な対応策の提示が難しい個人消費の底上げに焦点を当てた。個人消費はGDPの約60%（2006年度の名目GDPは511.9兆円、家

計最終消費支出は284.7兆円）で最大を占めることから、その伸長によりわが国の経済成長に寄与すること、加えて、輸出への依存度を高める傾向にあるわが国の経済を内需との均衡が取れたより強靱なものにすることを狙い、需要側に対する消費活性化策に比重を置き提示する。

#### 能力、成果に応じた 労働市場の形成

1. 企業が求める人材像、能力、成果、それに応じた報酬を労働市場に明示する
2. 若年層が個人の所得獲得能力を培い、長期的な所得の見通しを立てられるような労働市場の形成を促す

#### 雇用形態に関わらない処遇

1. 能力、さらには成果により価格（報酬）を決める労働市場の形成を促すために、雇用形態の違いによる処遇の差を縮小する

#### 仕事と育児の両立支援

1. 子育て期間中の社員の支援についても正規、非正規の区別なく実施していく

### ● 提言3：新たな市場の発掘による消費活性化

【高齢層の増加、若年層、壮年層の減少、共働き世帯の増加に対応した市場を発掘する】

#### 高齢層向けの市場

1. 高齢者の可処分時間を取り込む時間消費型のサービス市場
2. アンチエイジングなどを目的とする公的医療保険適用外の医療サービス市場

#### 若年層、壮年層 向けの市場

1. 育児や教育、介護と仕事との両立を支援する家庭内サービス市場

#### 賃貸・中古住宅市場

1. 人口減少、少子高齢化による住まい方の変化を捉えた賃貸・中古住宅市場の整備

### ● 提言4：訪日外国人増加による消費活性化

【訪日外国人とその消費額の増加、さらには人材の集まる国を目指す】

#### 訪日外国人による 消費額増加に向けた施策

1. 欧米の高級ブランド店などでのショッピング、グルメに加え、ゴルフ、スキーなどのレジャーを楽しむ地方旅行の魅力をアピールする
2. 日本の高齢者向け医療サービスをツーリズムにも取り入れる

#### 人材の集まる国へ

1. まずは看護、介護分野で外国人労働者を積極的に受入れる
2. 世界に対し開かれた国を目指すために、移民受入れについての議論を